

碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩心 会 発行

| | | |
|--|------------------------------------|---|
| 10年11月現在 逗葉大(合) 子山地 山地区 船地区 計 | 会員数 133名 198名 33名 364名 | 10年11月 (316号) 発行者 千 葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗 |
|--|------------------------------------|---|

行事予定

○堀内支部 35周年記念大会

日時・12月13日(日) 午前10時より

場所・葉山町長柄(長柄会館)

会長、副会長、常任理事以上の先生、各教場の支部長、並びに代表者の方をご招待

○高段者審査課題講座実施要領

(皆伝、九段、十段、正師範)

日時・11月22日 9時受付

場所・平塚農業会館

一階ホール (皆伝、九段)

三階A、B会議室 (十段、正師範)

閉講式は16時15分の予定です。

昼食は各自でご用意下さい。

○初吟会

碩心会「初吟会」開催のお知らせ

日時・平成11年1月10日(日)10時〜16時

会場・逗子会館

会費・三千元

申し込み締切・12月6日まで

○教務部からのお知らせ(指導者講習会)

12月の講習会は、納会といたします。

日時・12月22日(火) 18時より

場所・県警保養所葉山荘(昨年と同じ)

(講習会はありません)

「青少年の育成」について

上村象岳

10月31日(土)、葉山町文化祭のオープニング・セレモニーに碩心会として参加しました。

この企画は、他の団体と交流できる触れあいの場所でもあります。来場の方に宣伝のため当日の詩吟「春望」を含めて四題を80枚、コピーして受付で配布しました。

そのあと大船に於て、東京連合青少年部との会合がありました。会員増強、青少年の育成と課題の多い昨今の悩みについて話し合いをもちました。

東京連合の先生は、神奈川の運営の見事さを見習いたいと、意見その他を聞きに來られたのが本音でありました。

神奈川県本部「みなみ吟道会」の石渡屋風先生は、子供達に教える教材の一部として、「吟道」の中より4コマのマンガを取り上げ自分で紙芝居を作り、指導に役立てていると伺い、私達も大いに感銘を受け参考になりました。

これからの吟道を託す青少年の育成が如何に大切か、会員の拡大を如何に達成できるか私達会員のこれからの課題であります。

逗子市文化祭

第48回詩吟、詩舞発表会開かれる

逗子A 安 田 好 岳

秋とは思えないほど暖かな11月1日、逗子市文化祭の一環として、第48回詩吟詩舞発表大会が、逗子市立図書館ホールに於て開催されました。

受付席にいと普段は余りお目にかかれな
い他会の先生方や会員さんにお会い出来てうれしく楽しいものです。

開会に先立ち、去る7月8日御逝去された
前理事長岡嶋岳風先生の遺影に黙禱、在りし
日を偲び、ご冥福を祈りました。

続いて高橋岳禮先生の先導による「富士山」
大合吟で開会。会派、教場は違っても吟を愛
する方達の集りだけあり、吟詠、詩舞も和気
あいあいの内に日頃の成果を発表することが
できました。書、華道吟もすばらしく、作品
を会場に飾り華やかに、詩舞「武田節」を舞
つてくださった五人のお嬢ちやま達、その真
剣さと可愛さに拍手喝采。役員吟詠は活力、
氣力にあふれ、見習うべきところ多大でした。
こういう会を持てるのも、高齢にもかかわ
らず、先頭に立って運営にあたられる先生方

はじめ、裏方の役員さん、病身をかばいなが
ら参加の先輩や、多忙を排しての会員さんは
云うに及ばず、熱心に聞きに来てくださるお
客さまがあればこそ感じました。

ことに杖を手に体を支えられ、汗びつしよ
りになって会場に足を運んでくださったお年
寄りには、思わず頭が下がりました。

改めて皆様の「おかげ」を知ると同時に、
自分の不勉強と甘さを思い知った一日でした。

葉山町文化祭

オーピングセレモニーに参加して

晴天にめぐまれた10月31日(土)葉山町文化祭
の前夜祭が開かれ、今年には昨年にくらべ、参
加10団体全部に15分づつの持ち時間が与えら
れました。詩吟、詩舞としては京愛会、紅舟
会の群舞で華やかに舞い、詩吟は合吟で二題
でした。

男性・神州

加藤岳洵先生他

女性・常盤孤を抱くの囀 鈴木岳抄先生他

葉山町文化祭

第22回詩吟詩舞民謡発表会

11月1日(日)葉山町文化祭の行事として、詩
吟、詩舞、民謡が葉山町文化会館に於て開催

されました。

秋晴れのすばらしい一日で、今年は民謡も
加わり、盛り沢山で衣裳も華やかに目を楽し
ませていただきました。

逗子の文化祭に出場したあと、葉山へ車で
駆けつけ、舞台へ時間ぎりぎりに到着した掛
け持ちの方もいられました。

吟詠は勿論、立体吟はとて興味があり、
構成もよく会場内はシーンと静まりかえって
いました。加藤岳心先生の閉会の言葉で、滞
りなく幕を閉じました。(西岡 記)

入 会

501 加藤ふみ江 横須賀市平作三一四一六

(唐木山) ☎〇四六八一五三一九〇九〇

退 会

223 根岸哲風(堀内D) 433 平野鶴泉(吟秀)

編集後記

澄みきつた夜空に皓々と輝く十三夜の月を
眺めながら、深まりゆく秋を肌で感じる頃と
なりました。更に月日の流れは急で、早くも
立冬を迎え、一抹の淋しさを覚えます。

今月は紙面を2頁にさせていただきました。
向寒の折、ご自愛下さい。 広報部